

中華人民共和国

山西省との 交流の概要

<昭和57年（1982年）10月27日友好提携>



埼玉県マスコット「コバトン」
（姉妹友好州省・山西省バージョン）

彩の国  埼玉県

目 次

	ページ
1 山西省の概要	1
2 山西省との交流のあゆみ	6
3 山西省との主な交流事業	12
4 山西省との近年の交流事業実施状況（H30～R3） . . .	20
5 関係機関連絡先	21

山西省の概要

1 位置

山西省は黄河中流の黄土高原に位置する内陸省で、西は晋陝峡谷を流れる黄河を境に陝西省と接し、南は一部に東へ流れる黄河を挟んで河南省に接します。

また、北は万里の長城を挟んで内モンゴル自治区、東は一部に太行山脈を挟んで河北省と接しています。（北緯34度34分～40度43分、東経110度14分～114度33分）

2 面積

面積 156,700km²（埼玉県3797.75km²の約41倍）

東西の幅約385km、南北の長さ約682km

3 人口

34,905,000人（2020年）

（埼玉県〔7,339,417人・2021年12月〕の約4.7倍）

4 省都：太原市

山西省の中央に位置。省の政治、経済、文化の中心地。

人口：約530.4万人（2021年）

面積：6,959km²

5 地勢

太行山脈、呂梁山脈などの山地・丘陵地が約80%で、隆起地形を呈しています。

海拔は平均約800mで、中国四大仏教名山の一つでもある五台山は海拔3,058mあり、河北地方の最高峰です。

(1) 黄土

山西省の西部は中国黄土高原の一部で、大部分の地域は10～30mの厚い黄土が堆積しています。

(2) 黄河

西側の陝西省との省境を南に向かって流れ、南西部で東に向かい、しばらくは河南省との省境を形成して河南省の北部へ流れます。臨汾市の壺口瀑布は観光スポットとして有名です。

(3) 汾河

山西省のほぼ中央を黄河第二の支流・汾河が流れます。汾河流域は古代遺跡の宝庫です。

6 気候

山西省には四季があり、昼夜の寒暖の差が大きい気候です。夏の平均気温は26度以下となっています。年降水量は約450mmです。

7 歴 史

山西省は、中華民族・黄河文明の発祥の地の一つで、昔の「中原」と呼ばれる地域のひとつです。伝説上の聖王とされる堯、舜、中国最古の王朝といわれる夏王朝（夏王朝の存在は現在のところ確認されていません。）を開いたとされる禹の3人は、みな山西省南部に都を築いたといわれます。紀元前770～476年の春秋時代、山西省は「晋国」と呼ばれたため、山西省の略称を「晋」といいます。

五胡十六国・南北朝時代、北魏（西暦386～534年）の首都は、平城（現・大同市）にあり（386～494年の間。494年洛陽に遷都）、この時期に平城（現・大同市）西方に、世界遺産に登録されている雲岡の石窟が造られました。

7世紀、唐高祖の李淵は太原で兵を挙げ、長安に唐（618～907年）をたてました。

また、明（1368～1644年）の初期、太原では商業が発達し、中国一の商都として繁栄しました。明の時期に築城され、世界遺産に登録されている平遥では、清中期に票号と呼ばれる金融為替業が成立し、最も古く創業した日昇昌票号は最盛期には中国全土及び日本などに支店を持つなど20世紀初頭まで繁栄していました。

正式に省となったのは清（1644～1911年）の時代で、太行山の西方にあることが山西の由来とされています。

8 政 治

国民の選挙によって議員が選出される省人民代表大会は省長や全国人民代表大会の代表者を選出します。共産党は省人民代表大会に指導を行い、省長が行政を担います

- (1) 省政府 : 省長
蓝 佛安 氏 (2021年6月～)
- (2) 党 : 中国共産党山西省委員会書記
林 武 氏 (2021年6月～)
- (3) 省人民代表大会 : 人民代表大会常務委員会主任
林 武 氏 (2021年6月～)

9 行政 区

山西省には、11の省直轄の市（太原、大同、陽泉、長治、晋城、朔州、忻州、晋中、臨汾、運城、吕梁）があり、その下部行政区としてさらに117の県（市・区）があります。

10 経 済

- (1) 省内総生産（GDP）
2020年の省内GDPは、1兆7,651.93億元（＝約33兆8,917億円）です。
（参考）埼玉県県内総生産（名目）：23兆2,541億円（2018年度）
- (2) 1人当たりGDP
2020年の山西省の1人当たりGDPは50,528元（＝約97万円）です。
（参考）埼玉県1人当たり県民所得：304.7万円（2018年度）
※1元＝19.2円（2022年3月現在）

11 産 業

山西省は中国における重要な新エネルギー及び工業の重要な基地です。

省内は鉱物資源に恵まれており、その種類は豊富で、広範囲に分布しています。特にボーキサイト、耐火粘土、マグネシウム鉱の埋蔵量は中国国内で最も多くなっています。また、石炭の生産能力は中国全体の57%を占めており、山西省は「石炭の里」と称されています。大同、寧武、西山、霍西、沁水、河東が6大炭田です。

新エネルギー発電も盛んであり、新エネルギー発電設備の割合は山西省内の発電設備全体の30%以上を占めています。加えて、高性能機器の製造や新世代の情報技術、新エネルギーを使った乗り物など、戦略的な新興産業が急成長しています。

12 特 産 品

- (1) 汾 酒 : 高粱が原料の無色透明の度数の高い酒です。
中国八大銘酒の一つで、杏花村地区の汾酒が有名です。
- (2) 酢 : 中国四大酢の一つである山西老陳酢（黒酢の一種）が有名です。
山西省はアルカリ性の土壌が広く分布しているため、体がアルカリ性になりやすく、それを防ぐために食事の時にこの老陳酢をつけます。
- (3) 麵 : 山西省は、麵のふるさとです。麵の種類は百数十種類に上りますが、特に有名なのは「刀削麵」です。小麦粉の生地を固まりを、包丁で柳の葉のような形に削りながら、煮立った鍋の中へ飛ばして入れます。ゆで上がった麵は、たれをかけたたり、煮たり炒めたりして食べます。

13 歴史遺産・名所

(1) 歴史遺産

現存する古代建築物の数は中国一です。雲岡石窟（大同市、中国三大石窟の一つで約1,500年の歴史を有す。53の洞窟に51,000余体の石像がある）や平遥古城（晋中市平遥県、明代に築かれた城壁や明・清代の街並み）、五台山（忻州市五台県、中国四大仏教名山の一つ）はユネスコの世界文化遺産に登録され、優れて普遍的価値を持つ文化遺産であると世界にも認められています。

ほかに、晋祠（太原市、侍女塑像、臥龍周柏、難老泉などが有名）、応県木塔（朔州市応県、1056年創建、現存する中国最古かつ最高（高さ67.31m）の木塔）、懸空寺（大同市、1,500年前に断崖絶壁に張り付くように建立された木造仏教建築）など多数の歴史遺産があります。

(2) 観光名所

黄河が滝になって落ちる「壺口瀑布（臨汾市吉県の西部）」が有名です。高さ30m、幅は50mあり、黄色瀑布としては世界最大といわれ、毎年6～7月には黄河瀑布の川下りが行われます。

14 友好都市

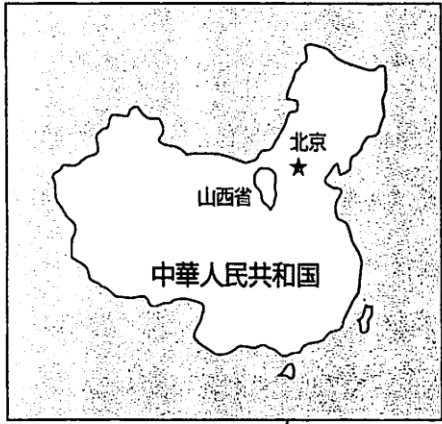
(1) 山西省と日本の自治体との友好都市

自治体名	提携先	提携年月日
埼玉県	山西省	1982(昭和57)年10月27日
埼玉県秩父市	山西省臨汾市 ^{りんぶん}	1988(昭和63)年10月7日
福岡県大牟田市	山西省大同市 ^{だいどう}	1981(昭和56)年10月16日
兵庫県姫路市	山西省太原市 ^{たいげん}	1987(昭和62)年5月20日

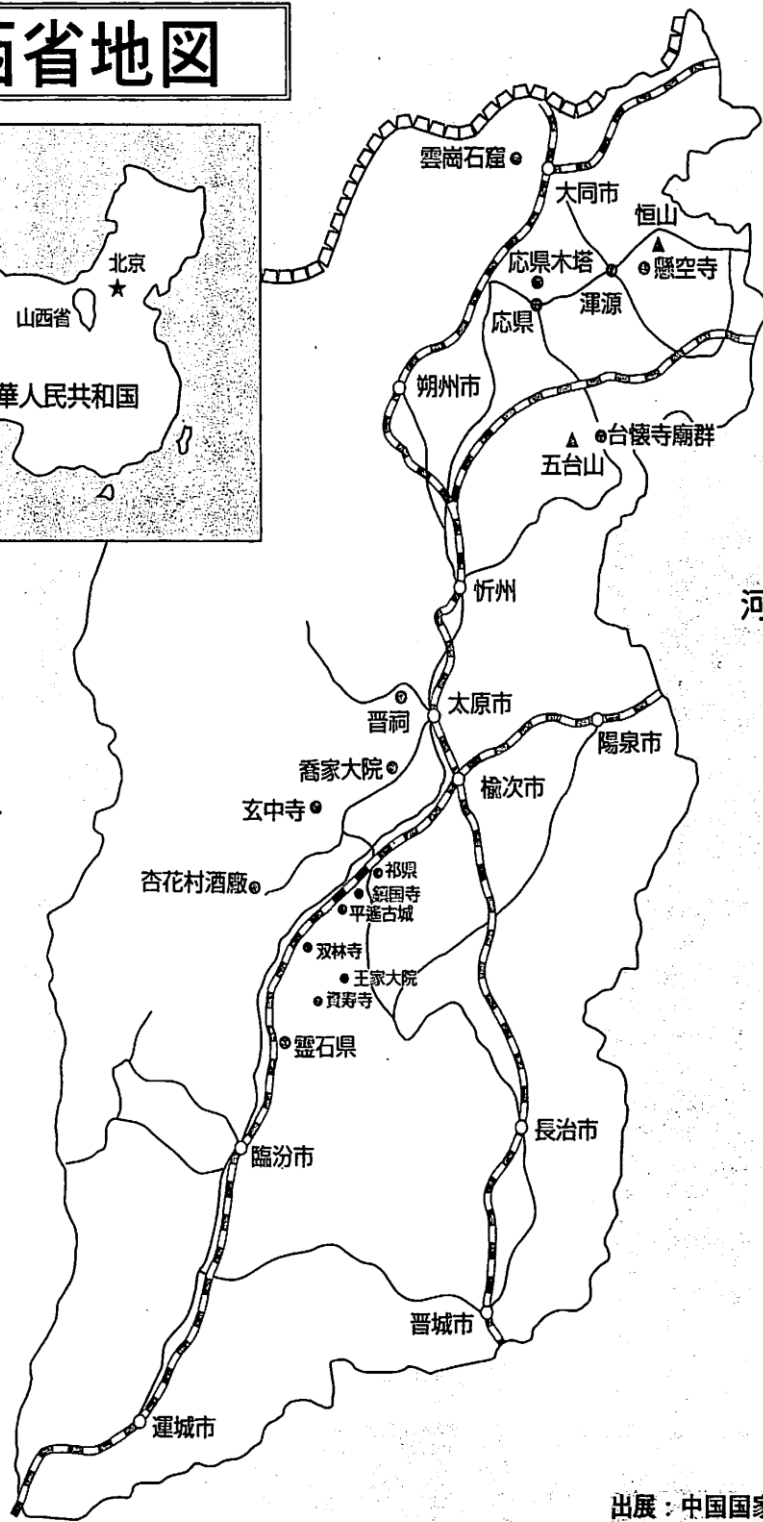
(2) 中国と埼玉県内市町村との友好都市(上記以外)

	市町村名	提携先	提携年月日
1	さいたま市	河南省鄭州市 ^{ていしゅう}	1981(昭和56)年10月12日
2	所沢市	江蘇省常州市 ^{こうそ じょうしゅう}	1992(平成4)年4月20日
3	狭山市	浙江省杭州市 ^{せつこう こうしゅう}	1996(平成8)年7月8日
4	深谷市	北京市順義区 ^{じゅんぎ}	1995(平成7)年11月7日
5	草加市	河南省安陽市 ^{あんよう}	1998(平成10)年11月1日
6	戸田市	河南省開封市 ^{かいふう}	1984(昭和59)年8月21日
7	入間市	浙江省奉化市 ^{せつこう ほうか}	2000(平成12)年5月16日
8	新座市	河南省濟源市 ^{さいげん}	2002(平成14)年5月16日
9	上尾市	浙江省杭州市 ^{せつこう こうしゅう}	2004(平成16)年3月26日

山西省地图



陕西省



河北省

展出：中国国家觀光局

山西省との交流のあゆみ

- 1978（昭和53）年11月 「日中友好埼玉県青年の翼」訪中団が山西省太原市を訪問した。
- 1979（昭和54）年9月 埼玉県日中友好協会会長が訪中した際、山西省の要人から、本県と友好関係を結びたいという呼びかけがあった。
- 1982（昭和57）年10月 「日本国埼玉県・中華人民共和国山西省友好県省締結に関する協定書」を締結した。（羅貴波^{らきは} 山西省省長来県時、10月27日）
- 1983（昭和58）年度 友好締結1周年記念事業としてオシドリとシラコバトを交換、双方の地で物産観光展を開催した。
- 1984（昭和59）年10月 白^{はく}山西省副省長が来県した。（1985-87合意書調印）
- 1984（昭和59）年度 県立がんセンター、県立小児医療センター、県立衛生研究所等で山西省からの医療研修生を受け入れた。（継続中）
埼玉県民舞踊団（43名）が山西省を訪問、親善公演を行った。
高校生のスポーツ交流を行った。（～1997年度）
- 1985（昭和60）年度 県農業大学校、県農業試験場、県畜産試験場、県養鶏試験場で山西省からの農業研修員を受け入れた。（～1999年度）
山西省へ日本語教員を派遣した。（～1992年度）
- 1986（昭和61）年度 経済協力促進共同委員会（SASEC）を設立し、翌1987年～1997年度の間、経済協力促進共同委員会を毎年相互に開催した。
北京女性会議に合わせ、女性友好交流団を相互派遣した。（～1995年度）
農業技術指導員を派遣した。（～1996年度）
- 1987（昭和62）年度 友好締結5周年記念事業として双方の地で記念式典を開催した。
埼玉県立博物館で山西省文物展を開催した。
- 1987（昭和62）年10月 郭^{かく} 山西省副省長が来県した。（5周年記念式典）
- 1988（昭和63）年度 両県省で職員を相互派遣した。（～1993年度）
高校生海外セミナー（県立高校生を山西省に派遣）を実施した。（～1996年度）
- 1990（平成2）年10月 李^り 山西省人民政府秘書長が来県した。（1991-93合意書調印）
- 1990（平成2）年度 山西省から産業技術研修生を受け入れた。（～1993年度）
農業専門家を山西省に派遣した。（～1996年度）
埼玉県青年洋上大学を山西省に派遣した。（～1993年度）
- 1991（平成3）年度 山西省青年雑技芸術団（18名）が来県し、「さいたま国際フレンドシップ芸能音楽祭」で公演を行った。

- 1992（平成4）年5月 ^{おうしんこう}王森洪 山西省省長が来県した。
友好締結10周年記念事業として埼玉県山西省友好記念館（愛称：^{しんいかん}神怡館（両神村））の開館式・記念式典・祝賀会を開催した。
県立浦和図書館で中国山西版画展を開催した。
- 1992（平成4）年10月 知事が山西省を訪問した。
山西省太原市で10周年記念式典が開催され、埼玉県からは250人が出席したほか、埼玉県山西省文化交流使節団（32名）が現代舞踏公演などの各種交流事業を行った。
山西省に環境保全技術協力団を派遣した。（～1996年度）
- 1993（平成5）年4月 ^{おうもりん}王茂林 中国共産党山西省委員会書記が来県した。
- 1993（平成5）年5月 山西省五台山に川越の蔵造りをイメージした和風宿泊施設「^{うんぼうひんかんでいんきやくぼう}雲峰賓館庭院客房」がオープンした。
- 1994（平成6）年9月 ^{りりつこう}李立功 山西省対外友好協会顧問（元 党山西省委員会書記）が来県した。
- 1994（平成6）年度 山西省に生産管理診断・指導員を派遣した。（～2005年度）
公害センター、下水道事務所で山西省から環境保全技術研修生を受け入れた。（～1999年度）
山西省文化交流使節団が来県し、県内3会場で親善公演を行った。
- 1996（平成8）年3月 ^{こふこく}胡富国 中国共産党山西省委員会書記（元山西省省長）が来県した。
埼玉県山西省友好記念館（^{しんいかん}神怡館）に、山西省から応県木塔の模型が寄贈された。
- 1996（平成8）年度 埼玉県山西省文化交流使節団（ジャズダンス、29名）が山西省を訪問し、親善公演及び省内文化関係者との交流事業を行った。
- 1997（平成9）年1月 ^{りゅうしんか}劉振華 山西省常務副省長が来県した。（1997-99合意書調印）
- 1997（平成9）年度 山西省文化交流使節団（書道家と美術家18名）が来県し、埼玉会館で展示会を開催した。
- 1999（平成11）年度 埼玉県山西省文化交流使節団（いけばな・茶道、18名）が山西省を訪問し、展示会等を開催した。
- 2000（平成12）年3月 ^{せつえいてつ}薛栄哲 山西省副省長が来県した。（2000-02合意書調印）
- 2000（平成12）年度 県農林総合研究センターで山西省から研修生を受け入れた。
土壌専門家を山西省に派遣した。
（～2002年度 JICAアルカリ土壌改良現地実証調査事業）
環境科学国際センターで環境保全技術研修員を受け入れた。
山西省子ども舞踊団（23名）が来県し、公演を行った。

- 2001（平成13）年6月 範堆相^{はんついそう} 山西省副省長（農業代表団団長）が来県した。
- 2001（平成13）年9月 王昕^{おうきん} 山西省副省長（医療代表団団長）が来県した。
- 2002（平成14）年3月 第1回埼玉県国際ジュニアサッカー大会を開催し、山西省から小学生チームを受け入れた。（～2004年度）
- 2002（平成14）年5月 薛榮哲^{せつえいてつ} 山西省副省長が来県し、観光説明会等を行った。
- 2002（平成14）年
4月10日～6月30日 ワールドカップサッカー大会の開始を記念し、「わくわくサッカー一絵画展」を開催（於：伊勢丹浦和店）
- 2002（平成14）年10月 知事が山西省を訪問し、劉振華^{りゅうしんか}省長との間で「埼玉県と山西省の交流・協力に関する覚書」の署名、交換を行った。
山西省太原市で20周年記念式典が開催され、埼玉県からは230人が出席し、埼玉県山西省文化交流使節団（20名）が太鼓公演などの各種交流事業を行った。
- 2003（平成15）年3月 交流事業合意書（2003-2005年）等に調印。
4月 SARS発生について、知事から劉振華^{りゅうしんか}省長あてに見舞状送付。
5月 知事から省長あてに見舞状とともに、SARS対策用の支援物資（防護服300枚、マスク15,000枚）を送付。
10月 山西省文化交流使節団（21名）が来県し、公演のほか、知事表敬訪問などを行った。
12月 張少琴^{ちやうしやうきん}副省長が来県し、知事を表敬訪問したほか、伊奈学園中・高、埼玉大学などの視察を行った。
- 2004（平成16）年11月 宋北杉^{そうほくさん}副省長が来県し、知事を表敬訪問した。
- 2005（平成17）年12月 李玉臻^{りぎよくしん}高級人民法院院長が来県し、知事を表敬訪問した。
- 2006（平成18）年4月 知事が山西省を訪問し、于幼軍^{うようぐん}省長と郭貴春^{かくきしゆん}山西大学学長を表敬訪問したほか、埼玉の森建設第3回植樹祭に参加した。
5月 交流事業合意書（2006-08）等に調印
- 2007（平成19）年5月 胡蘇平^{こそへい}副省長が来県し、知事を表敬訪問した後、県立がんセンターを訪問した。
8月 山西大学へ奨学生派遣事業により初めて奨学生（5名）を派遣した。
- 2008（平成20）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（5名）を派遣した。
- 2009（平成21）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（5名）を派遣した。
10月 知事が山西省を訪問し、張宝順^{ちやうほうじゆん} 中国共産党山西省委員会書記、王君^{おうくん}省長と今後の更なる交流の推進について意見交換を行い、

王君省長との間で「埼玉県と山西省との交流・協力に関する合意書」の署名、交換を行った。また、経済環境の変化、環境問題の現状を踏まえ、「経済セミナー」や「ビジネス交流会」を開催した。

環境保護庁幹部との意見交換を行い、民間を含めた環境改善や技術交流について両県省間で合意が図られた。山西医科大学を訪問し、大学幹部と会談するとともに、同大学と埼玉県立大学との学術交流協定の締結に立ち会った。

- 2009（平成21）年11月 おうもりん 王茂林 山西医科大学共産党書記ら「山西省・山西医科大学訪問団」6名が来県し、知事を表敬訪問するとともに、学術交流の具体策について埼玉県立大学と協議を行った。
- 2010（平成22）年2月 環境科学研究院長、環境保護庁職員ら5名が来県し、環境政策について意見交換を行った。
- 2010（平成22）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生5名が来県し、知事を表敬訪問した。（派遣期間4月から1年間）
- 2010（平成22）年7月 埼玉国際ジュニアサッカー大会2010を開催し、山西省選抜チーム（小学生）を受け入れた。
- 2010（平成22）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（2名）を派遣した。
- 2010（平成22）年9月 2010年中国国際友好都市大会（開催地：上海）にて、本県と山西省とのこれまでの交流が評価され、中国人民対外友好協会・中国国際友好都市連合会から「対華友好都市交流協力賞」が授与された。
- 2010（平成22）年10月 山西医科大学副学長ら「山西医科大学訪問団」5名が来県し、学術交流の具体策について埼玉県立大学と協議を行った。
- 2010（平成22）年11月 山西省における環境ビジネスニーズを調査するために、環境部、企業局、下水道局職員及び民間専門家（計14名）が、山西省を訪問した。
- 2011（平成23）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生5名が来県した。
（派遣期間4月から約1年間）
- 2011（平成23）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（3名）を派遣した。
- 2011（平成23）年9月 埼玉県立大学学長ほか2名が山西医科大学を訪問し、今後の交流について協議を行った。
- 2012（平成24）年2月 えんじゅんせい 袁純清 中国共産党山西省委員会書記が来県した。
- 2012（平成24）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生2名が来県した。
（派遣期間4月から約1年間）
- 2012（平成24）年5月 ぎゅうじんりょう 牛仁亮 副省長が来県し、知事を表敬訪問した。

- 2012（平成24）年6月 環境保護庁副庁長ら10名が来県し、人的交流の拡大、研究交流の推進について協議を行った。
- 2012（平成24）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（6名）を派遣した。
- 2013（平成25）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。
（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2013（平成25）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（1名）を派遣した。
- 2014（平成26）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。
（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2014（平成26）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（2名）を派遣した。
- 2015（平成27）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。
（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2015（平成27）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（1名）を派遣した。
- 2015（平成27）年11月 山西省の高校生100名が外務省の交流事業で来県した。
- 2016（平成28）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。
（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2016（平成28）年6月 外事僑務弁公室副主任ら5名が来県し、今後の交流について協議を行った。
- 2017（平成29）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。
（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2017（平成29）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（6名）を派遣した。
- 2017（平成29）年8月 山西省社会科学界連合会常務副主席ら2名が来県し、県の伝統工芸や文化財の保護や観光について視察を行った。
- 2017（平成29）年8月 山西省発展研究センター主任ら4名、朔州市副市長ら2名、晋城市副市長ら2名、臨汾市外事僑務弁公室副主任ら2名の合計10名が来県し、副知事のほか、川口市と富士見市を表敬訪問した。
- 2017（平成29）年11月 山西省の大学生50名が外務省の交流事業で来県した。
- 2018（平成30）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生7名が来県した。
（学部生4名・大学院生3名 派遣期間4月から約1年間）
- 2018（平成30）年6月 外事僑務弁公室副主任ら2名が来県し、今後の交流について協議を行った。
- 2018（平成30）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（4名）を派遣した。
- 2018（平成30）年10月 えいしょうしゅん衛小春 山西省人民代表大会副主任他12名が来県し、副知事を表敬訪問したほか、県立小児医療センター、道の駅「庄和」、県立大学の視察を行った。

- 2019（平成31）年1月 商務庁 ^{かん しゅんりん}韓 春 霖 庁長ほか5名が来県し、今後の交流について協議を行ったほか、エネルギー環境課、観光課との打合せを行った。また、産業振興公社、環境整備センター、熊谷ラグビー場、自動車解体業者を視察したのち、部長へ表敬訪問した。
- 2019（平成31）年3月 山西医科大学から埼玉県立大学へ奨学生8名が来県した。（学部生4名・大学院生4名 派遣期間4月から約1年間）
- 2019（令和元）年6月 外事弁公室副主任ら4名が来県し、今後の交流について協議を行ったほか、埼玉県日中友好協会との打合せを行った。
- 2019（令和元）年7月 外事弁公室武主任ら2名が来県し、省長を団長とする訪問団の来県について協議を行ったほか、視察先の下見を行った。
- 2019（令和元）年8月 ^{ろう ようせい}楼 陽生山西省長他11名が来県した。知事を表敬訪問し、埼玉会館で開催された「山西省と埼玉県との友好交流写真展」を知事と観覧したのち、さいたま市桜環境センター、さいたま市大宮盆栽美術館を視察した。
- 2019（令和元）年8月 都内で開催された「中国（山西省）と日本の経済・貿易・文化交流懇談会」に知事、副議長、県議会日中議員連盟幹事長が出席した。
- 2019（令和元）年8月 山西大学へ奨学生派遣事業により奨学生（3名）を派遣した。
- 2020（令和2）年2月 知事から省長あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（マスク15,000枚）を寄贈した。
- 2020（令和2）年4月 山西省長から知事あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（防護服1,000枚、マスク20,000枚）が寄贈された。
- 2020（令和2）年6月 山西省長から知事あてに新型コロナウイルス感染症対策用の支援物資（マスク20,000枚）が寄贈された。
- 2022（令和3）年12月（公財）日中友好会館が主催する事業を通じて、防災・環境の観点から日中大学生のオンライン交流を実施した。

山西省との主な交流事業

1 経済協力交流（企業立地課・総務・国際経済担当）

(1) 経済協力促進共同委員会

年 度	交 流 事 業
1986(S61)年度	経済協力促進共同委員会（SASEC）設立 目的：経済協力事業について協議を行う。 構成：産業界及び県庁職員で構成。 共同事業の内容を委員会で協議し決定する。
1987(S62)～ 97(H9)年度	経済協力促進共同委員会毎年相互に開催し、1997(平成9)年度までに11回の合同委員会を開催した。 1997(平成9)年度からは、隔年相互に開催する。
2000(H12)年度	第12回経済協力促進共同委員会を埼玉県で開催した。
2001(H13)年度	第13回経済協力促進共同委員会を山西省で開催した。
2004(H16)年度	第14回経済協力促進共同委員会を埼玉県で開催した。
2005(H17)年度	第15回経済協力促進共同委員会を山西省で開催した。
2007(H19)年度	第16回経済協力促進共同委員会を埼玉県で開催した。
2009(H21)年度	第17回経済協力促進共同委員会を山西省で開催した。

(2) 技術者の交流

年 度	交 流 事 業
1990(H2)～ 1993(H5)年度	産業技術研修生を受け入れた。 94(平成6)年度からは、民間（社）日中産業技術交流協会が直接受入を行うこととなった。
1994(H6)～ 2005年(H17)年度	「生産管理診断・指導員の派遣」を実施した。 ※2000(H12)～02年(H14)年度は「生産管理診断、指導員の派遣」という名称を使用

2 農業交流（農業支援課）

受 入

年 度	人数・期間	研 修 機 関
1985(S60)～96(H8)年度	計84名・各6か月	農業大学校、農業試験場、 畜産試験場、養鶏試験場
1997(H9), 98(H10)年度	各年度6名・6か月	
1999(H11)年度	各年度4名・6か月	
2000(H12)～02(H14)年度	各年度3名・1か月	農林総合研究センターでアルカリ土壌改良共同研究 (JICA アルカリ土壌改良現地実証調査事業)
2003(H15)～04(H16)年度	各年度3名・1か月	農林総合研究センターでアルカリ土壌改良共同研究 (アルカリ土壌改良共同研究、JICA 補助事業)
2005(H17)～07(H19)年度	各年度2名・6か月	農林総合研究センターでアルカリ土壌改良共同研究

【計 121名（うち農業分野研修員100名、アルカリ土壌改良事業21名）】

派遣

年 度	人数・期間	内 容
1990 (H2) ~96 (H8) 年度	毎年 1 ~ 2 人・ 3 か月間	埼玉県の農業専門家（試験研究機関の研究員）が指導に当たった。
2000 (H12), 01 (H13) 年度	6 名・各 1 か月	短期土壌専門家の派遣（JICA 事業） （JICA アルカリ土壌改良現地実証調査事業）
2001 (H13) 年度	1 名・1 年	長期土壌専門家の派遣（JICA 事業） （JICA アルカリ土壌改良現地実証調査事業）
2002 (H14) 年度	4 名・各 1 か月	短期土壌専門家の派遣（JICA 事業） （JICA アルカリ土壌改良現地実証調査事業）
2003 (H15) ~04 (H16) 年度	2 名・約 1 か月・ 3 回	短期土壌専門家の派遣 （アルカリ土壌改良共同研究、JICA 補助事業）

3 医療衛生交流（保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当）

受 入

年 度	受入機関	人数・期間
1984 (S59) ~ 1999 (H11) 年度	県立がんセンター	2 名・6 か月間
	県立小児医療センター	1 名・3 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
2000 (H12) 年度	県立がんセンター	2 名・4 か月間
	県立小児医療センター	1 名・3 か月間
2001 (H13) 年度	県立がんセンター	2 名・6 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
2002 (H14) 年度	県立がんセンター	1 名・3 か月間
	埼玉医科大学附属病院（毛呂山）	1 名・3 か月間
	埼玉医科大学総合医療センター（川越）	1 名・3 か月間
2004 (H16) 年度 ~05 (H17) 年度	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
	県立県民健康福祉村他	1 名・3 か月間
2005 (H17) 年度	県立がんセンター	1 名・3 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
	県立県民健康福祉村他	1 名・3 か月間
2006 (H18) 年度	県立がんセンター	1 名・2 か月間
	県立小児医療センター	1 名・2 か月間
	県立衛生研究所	1 名・2 か月間
2007 (H19) 年度	県立がんセンター	1 名・3 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
2008 (H20) 年度	県立小児医療センター	1 名・3 か月間
	県立衛生研究所	1 名・3 か月間
2009 (H21) 年度	県立がんセンター	2 名・2 か月間 4.5 か月間
	県立衛生研究所	1 名・2 か月間
2010 (H22) 年度	県立がんセンター	1 名・3 か月間
	県立小児医療センター	1 名・3 か月間
	埼玉医科大学附属病院	
2011 (H23) 年度	県立小児医療センター	1 名・3 か月間

2012 (H24) 年度	県立小児医療センター	1名・3か月間
2013 (H25) 年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
2014 (H26) 年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
2015 (H27) 年度	県立小児医療センター 県立がんセンター	1名・1.5か月間 1名・1.5か月間
2016 (H28) 年度	県立がんセンター	1名・1.5か月間
2017 (H29) 年度	県立小児医療センター	1名・1.5か月間
2018 (H30) 年度	県立がんセンター	1名・1.5か月間
2019 (R1) 年度	県立循環器・呼吸器病センター	1名・1.5か月間

【計 105名】

派遣

1984 (S59) 年度～ 2002 (H14) 年度	埼玉県の医療関係職員を派遣し、講演等を行う。
---------------------------------	------------------------

4 環境保全交流(環境科学国際センター 研究企画室)

受入

1991 (H3) 年度	山西省から環境保護視察団が来県
1992 (H4) 年度	両県省10周年記念事業を契機に環境保全事業に本格的に取り組むことで合意。
1994 (H6) ～1999 (H11) 年度	公害センター及び下水道事務所で研修生を受入れ。 各年度各機関1名・計2名・3か月間
1994 (H6) 年度～2010 (H22) 年度	環境保全技術研修員を環境科学国際センターで各年度1名・2か月受入
2011 (H23) 年度～	環境保全技術研修員を環境科学国際センターで各年度2名・1か月受入
2010 (H22) 年度	山西農業大学から共同研究者4名を受入(11月～12月)
2011 (H23) 年度	山西省生態環境研究中心から3名、山西農業大学から2名の共同研究者を受入(11月) 山西農業大学から共同研究者3名を受入(2月)
2012 (H24) 年度	山西農業大学から研修員1名を受入(7月～10月) 山西省生態環境研究中心から3名、山西農業大学から1名、山西省太原市から1名の共同研究者を受入(2月) 山西農業大学から共同研究者4名を受入(3月)
2013 (H25) 年度	山西農業大学から研修員1名を受入(8月～11月) 山西農業大学から共同研究者3名を受入(10月～11月) 山西省生態環境研究中心から4名、晋城市環境局から1名、水環境保全モデル事業による技術研修生を受入(10月) 山西省生態環境研究中心から4名、山西農業大学から2名の共同研究者を受入(11月)

2014 (H26) 年度	山西省生態環境研究中心から5名、水環境保全モデル事業による技術研修生を受入（11月）
	山西農業大学から共同研究者4名を受入（1月）
2015 (H27) 年度	山西省環境企画院から研修員4名を受入。山西省生態環境研究中心から共同研究者7名を受入。
2016 (H28) 年度	山西省生態環境研究中心から研究者5名を受入。山西農業大学から共同研究者5名を受入。
2017 (H29) 年度	山西省生態環境研究中心から研究者5名、山西省大同市環境保全局から研修員3名を受入。山西農業大学から共同研究者6名を受入。
2018 (H30) 年度	環境保全研修員2名、山西農業大学から共同研究者6名を受入。
2019 (R1) 年度	環境保全研修員2名、山西省環境保全技術研修員（山西省生態環境庁）2名、山西農業大学から共同研究者2名を受入。

【計 141名】

派遣

年 度	人数・回数	内 容
2008 (H20) ～09 (H21) 年度	のべ9名・3回	山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等
2010 (H22) 年度	のべ6名・2回	山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等
	3名・1回	山西省生態環境研究中心と研究交流協定締結
	のべ14名・1回	県と民間専門家による調査チームを編成し、現地視察や現地企業との交流を通じて環境ビジネスのニーズ調査を実施
2011 (H23) 年度	のべ7名・2回	JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等
2012 (H24) 年度	2名・1回	山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等
	3名・1回	JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等
	4名・1回	水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に、水質汚染の防止・水生生態系の修復支援 等

2013 (H25) 年度	のべ5名・2回	山西農業大学との協力による汚染土壌修復支援 等
	のべ7名・2回	JICA草の根技術協力事業を活用して、山西省の農村地域におけるごみの減量化、資源化の推進等の指導 等
	のべ9名・2回	水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に、水質汚染の防止・水生生態系の修復支援 等
2014 (H26) 年度	のべ8名・2回	水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に、水質汚染の防止・水生生態系の修復支援 等
	2名・1回	大気汚染対策分野における都市間連携事業に係る山西省環境保護庁との協議
2015 (H27) 年度	のべ8名・2回	水環境保全モデル事業により、山西省の代表的河川である沁河流域を対象に、水質汚染の防止・水生生態系の修復支援 等
	1名・1回	大気汚染対策分野における都市間連携事業に係る山西省環境保護庁との協議
	のべ7名・2回	持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ
2016 (H28) 年度	のべ7名・2回	持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ
2017 (H29) 年度	のべ8名・2回	持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ
	4名・1回	土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等
2018 (H30) 年度	のべ8名・2回	持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ
	2名・1回	土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等

【計124名】

5 文化交流

受入（文化振興課）

1985(S60)年度	山西省歌舞団（52名）が県内3会場で公演を行った。
1991(H3)年度	山西省青年雑技芸術団（18名）が「さいたま国際フレンドシップ芸能音楽祭」で公演を行った。

1994(H6)年度	山西省の民間歌舞団を中心に構成された山西省文化交流使節団（32名）が県内3会場で親善公演を行った。
1997(H9)年度	山西省の書道家と美術家を中心に構成された山西省文化交流使節団（18名）が埼玉会館で展示会を開催するとともに、埼玉県書道人連盟、埼玉県美術家協会ほか文化関係者との交流会を実施した。
2000(H12)年度	子ども舞踊団（23名）を受け入れ、公演や地域の子どもたち、青少年との交流会を行った。（2000(H12).11.9～16）
2003(H15)年度	子ども舞踊団（21名）を受け入れ、公演や地域の子どもたち、青少年との交流会を行った。（2003(H15).10.9～16）

受入（その他）

2007(H19)年度	友好県省締結25周年を記念して、山西省京劇院（25名）が県内5会場で公演（財団法人日本青少年文化センター主催、埼玉県など後援）を行った。
2012(H24)年度	友好県省締結30周年を記念して、山西省太原市民間芸術団（35名）がさいたま市内で演奏会（埼玉県日中友好協会主催、埼玉県・山西省人民政府など後援）や県民との交流を行った。

派遣（文化振興課）

1984(S59)年度	埼玉県民舞踊団（43名）が太原市において日本舞踊、日本の民謡民舞、軽音楽の演奏など親善公演を行った。
1992(H4)年度	友好県省提携10周年を記念し、埼玉県山西省文化交流使節団（32名）が現代舞踊公演などの各種交流事業を行った。
1996(H8)年度	ジャズダンスを中心に構成された埼玉県山西省文化交流使節団（29名）が2回にわたる親善公演及び省内文化関係者との交流事業を行った。
1999(H11)年度	いけばなと茶道の文化団体を中心に構成された埼玉県山西省文化交流使節団（18名）が展示会等を開催するとともに、文化関係者との交流会を実施した。
2002(H14)年度	友好県省締結20周年を記念して、中国山西省へ青少年の文化交流使節団（20名：「高野右吉と秩父社中」、「武州彩鼓会」）を派遣し、太鼓公演や交流会等を行った。

6 スポーツ交流（青少年課 国際ジュニアサッカー大会担当）

受入

2004(H16)、 06(H18)年度、 10(H22)年度	埼玉国際ジュニアサッカー大会開催 山西省選抜チーム（小学生）の受入れ
---------------------------------------	---------------------------------------

7 自治体職員交流（国際課 国際交流・協力担当）

受 入

2005 (H17) 年度	自治体職員協力交流研修員（統計行政）を受入れ 埼玉県総務部統計課で約6か月研修
2006 (H18) 年度	自治体職員協力交流研修員（社会保障・福祉）を受入れ 県立大学、福祉部ほかで計約6か月研修
2007 (H19) 年度	自治体職員協力交流研修員（日本語教育）を受入れ 日本語国際センター、和光国際高校で計約6か月研修

8 山西大学奨学生派遣事業（国際課 国際戦略担当）

派 遣

2007 (H19) 年度	奨学生5名を派遣
2008 (H20) 年度	奨学生5名を派遣
2009 (H21) 年度	奨学生5名を派遣
2010 (H22) 年度	奨学生2名を派遣
2011 (H23) 年度	奨学生3名を派遣
2012 (H24) 年度	奨学生6名を派遣
2013 (H25) 年度	奨学生1名を派遣
2014 (H26) 年度	奨学生2名を派遣
2015 (H27) 年度	奨学生1名を派遣
2017 (H29) 年度	奨学生6名を派遣
2018 (H30) 年度	奨学生4名を派遣
2019 (R1) 年度	奨学生3名を派遣
2021 (R3) 年度	山西大学のオンライン授業に5名が参加

9 山西省からの奨学生受入事業（埼玉県立大学）

受 入

2010 (H22) 年度	奨学生5名（山西医科大学）を受入
2011 (H23) 年度	奨学生5名（山西医科大学）を受入
2012 (H24) 年度	奨学生2名（山西医科大学）を受入

2013 (H25) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入
2014 (H26) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入
2015 (H27) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入
2016 (H28) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入
2017 (H29) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入
2018 (H30) 年度	奨学生 7 名 (山西医科大学) を受入
2019 (R 1) 年度	奨学生 8 名 (山西医科大学) を受入

10 JETプログラム (高校教育指導課 教育指導担当) 受 入

2009 (H21) 年度	J E Tプログラムによる語学指導助手 (中国語) を受入れ 埼玉県立和光国際高校で 1 年間
2010 (H22) 年度	J E Tプログラムによる語学指導助手 (中国語) を受入れ 埼玉県立和光国際高校で 1 年間
2011 (H23) 年度	J E Tプログラムによる語学指導助手 (中国語) を受入れ 埼玉県立和光国際高校で 1 年間

11 その他オンライン交流 (国際課)

2021 (R3) 年度	日中オンライン大学生交流を実施 (日中大学生合計 3 1 名) (公財) 日中友好会館が主催する事業に参加し、防災・環境の観点から日中の大学生のオンラインでの交流を実施した。
--------------	--

山西省との近年の交流事業実施状況（H30～R3）

交流項目	交流事業内容（担当課等）	派遣	受入	その他	備考
環境技術交流	・ 環境保全技術研修員の受入 （環境科学国際センター）		○		H30（2名・1か月） R1（2名・1か月）
	・ 山西省環境保全技術研修員受入 （環境科学国際センター）		○		R1（山西省生態環境庁2名）
	・ 山西農業大学との共同研究者受入 （環境科学国際センター）		○		H30（6名） R1（2名）
	・ 持続的水環境保全に向けた山西省における生物による水質調査と環境教育適用に係る環境教育現地調査及び研究打合せ（環境科学国際センター）	○			H30（のべ8名、2回）
	・ 土壌汚染における環境リスク低減と持続的資源回復の実現に関する研究にかかる現地調査実施と講演および研究打合せ等（環境科学国際センター）	○			H30（のべ2名）
保健医療交流	・ 医療衛生技術者の受入れ（保健医療政策課）		○		H30（医師1名・1.5か月 県立がんセンター） R1（医師1名・1.5か月 県立循環器・呼吸器病センター）
	・ 山西医科大学から奨学生の受入 （埼玉県立大学）		○		H30（7名・4月～2月） R1（8名・4月～2月）
教育交流	・ 山西大学への奨学生派遣（国際課）	○			H30（4名） R1（3名） R3（5名・オンライン）
	・ 日中オンライン大学生交流（国際課）			○	R3（日中合計31名）

関係機関連絡先

機 関 名	連 絡 先
山西省人民政府 外事弁公室 Foreign Affairs Office of the People's Government of Shanxi Province, People's Republic of China	〒030001 山西省太原市迎澤大街 388号 (388 Yingze Street, Taiyuan, Shanxi Province) TEL: (86) 351-404-0426 http://www.shanxigov.cn/
中華人民共和国駐日本大使館 Embassy of the People's Republic of China in Japan	〒106-0046 東京都港区元麻布3-4-33 TEL 03-3403-3388 (代) http://www.china-embassy.or.jp
外務省アジア大洋州局中国・ モンゴル第一課	〒100-8919 東京都千代田区霞ヶ関2-1-1 TEL:03-3580-3311 http://www.mofa.go.jp/mofaj/
在中華人民共和国日本大使館 People's Republic of China Embassy of Japan	郵便番号100600 北京市朝陽区亮馬橋東街1号 (No.1 Liangmaqiao Dongjie, Chaoyang District, Beijing, People's Republic of China) TEL: (86) 10-8531-9800 FAX: (86) 10-6532-7081 http://www.cn.emb-japan.go.jp/index_j.htm
特定非営利活動法人 埼玉県日本中国友好協会	〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目285 てらこやラボ新都心3号室 TEL:048-782-8049 FAX:048-782-8149 http://www.jcfa-saitama-or.jp/
埼玉県県民生活部国際課	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748 http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306

山西省との交流の概要

令和4年3月

発行：埼玉県県民生活部国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748

E-mail : a2705-09@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306>